

2024年 11月 17日 ≪ 収穫感謝礼拝 ≫

主 日 礼 拝 午前8時半 / 10時半 / 夜7時

司 会 白川 達男兄
奏 楽
祈 禱 松岡 清枝姉
賛 美 聖歌322番「まげやたねを」
～勝利・感謝・主に栄光～

パウロの祈り②

聖書朗読 使徒行伝25章1～7節
特別賛美 プレミアムクワイア&バンド
メッセージ 「福音に無関心な世の中の人々」
石井 潤 牧師

献 金 聖歌474番「世の波風いかに荒れて」
賛 美 ～明日はどんな日か～
祝 禱
お知らせ [司会者]
賛 美 ～平和初めて知った～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします!☆
《今週のお知らせ》

☆本日は収穫感謝礼拝です。与えられた恵みを主に感謝致します！第二礼拝後に
クリスマスに向けて、教会堂の大掃除を行います。ご協力をお願いします。

★祈祷会は、①明朝6時。 ②木曜朝10時半/夜7時半。 ③土曜夜8時。

☆来週も日曜礼拝を大切に致しましょう！午後は、聖歌隊の練習が行われます。

◎2025年のカレンダーが届きはじめました。ご覧ください。

☆☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [11/17-24]☆☆

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	エゼキエル 13-15	16	17-19	20-21	22-23	24-27	28-31	32-33
チェック	〇〇〇	〇	〇〇〇	〇〇	〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇

「福音に無関心な世の中の人々」

～神への感謝が宣教に導かれる～

「ところが、訴えというのが全く予想外で、ユダヤの宗教上の問題なのです。なんでも、死んでしまったイエスとかいう人物のことで、パウロはその人が生きてると主張しているのです。こんな事件は、とても手に負えそうもありません。そこで、エルサレムで裁判を受ける気はないかと尋ねてみたら、なんとこの男は、カイザルに上訴すると言いだしまして。しかたありません。皇帝陛下のもとへ送る手はずが整うまで、牢に入れてあるのです。」

使徒行伝25章18～21節 [リビングバイブル]

この総督フェストの言葉は、そのまま、クリスチャンでない人全体のことばであると言えます。

“クリスチャンたちは、毎週日曜日に教会に集まって礼拝をしているけど、それは、2000年前に十字架にかかって、三日目によみがえって、今も生きてると信じているイエスを礼拝しているんだそうだ。本当に不思議な人々だ。”と言っているのと似ています。

パウロはユダヤ人たちに訴えられていましたが、それは、ユダヤ人同士同士の宗教の問題であるから、ローマ人である我々には関係ないとフェストは感じていました。それは、まさにクリスチャンでない人々が私たちに対して感じていることでもあります。

“どうして、クリスチャンたちは遠いパレスチナで始まったイエスの教えを信じているのだろう？日本人である我々と全く関係がないのに、どうして信じることができるのだろう？”と不思議に感じていると思います。

しかし、フェストは最終的にパウロをローマに送ることを決定しました。しかし、実際にローマに送る理由が見当たらないので、当時、ユダヤの王として統治していたヘロデ・アグリッパ2世にも相談し、その理由を見つけようとした。

クリスチャンでない人たちはたいてい、私たちクリスチャンのことを興味がある部分もありますが、それ以上に自分とは別の世界の出来事であると理解していると思います。そんな人々に対して、私たちの信じることに興味を持たせることはそう簡単なことではありません。本当に地道な作業であると思います。関係を持ち続け、理解をしていただくしかありません。

パウロが取った方法は単純でした。ただひたすら、自分とイエスとの出会いについての内容を繰り返し語りました。人の心を開かせて、クリスチャンにさせることはできませんが、自分自身になされた人生の変化を語ることはできます。そして、聖霊が働いて、その人の心に「信じたい」、「信じるべきだ」という風に導かれたなら、パウロと同じように、個人的にイエス様を体験することができ、語られていたことが真実であることを信じられるようになるのです。

本日は「収穫感謝礼拝」。最も感謝すべきなのは、私たちが救われたこと。そして、その感謝を心から神様に捧げる時に、私たちを通して、クリスチャンではない私たちの家族や友人たちの魂が主によって救い出されることを信じて、心からの感謝を主にお捧げしたいと思います。クリスマスに向けて、福音が更に届けられていくように共に祈りてまいりましょう！